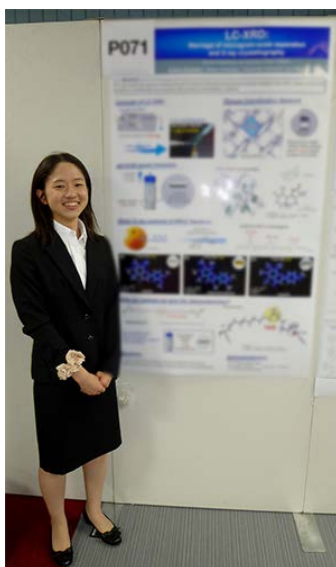
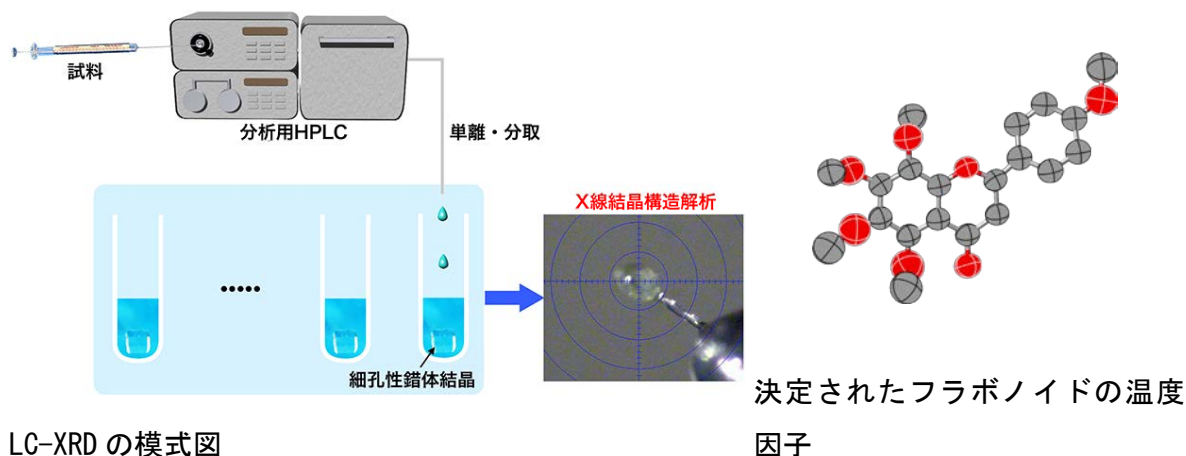


2012年9月14日、応用化学専攻 修士1年 有吉絢子さんが、第6回武田科学振興財団薬科学シンポジウムにおいて、ポスター賞を受賞しました。



細孔性錯体結晶を用いた数  $\mu\text{g}$  サンプルの結晶構造解析手法 (XRD) を液体クロマトグラフィー (HPLC) による分離と組み合わせることで LC-XRD という新たな構造解析手法を確立した。

本研究では結晶性のホスト化合物である細孔性錯体に着目し、ミカンの乾燥皮約 30 mg から HPLC で数マイクログラムずつ単離したフラボノイド成分を錯体に包接し全てのポリメトキシフラボンの結晶構造を決定することに成功した。



ご指導を賜りました藤田 誠教授、猪熊 泰英助教ならびに藤田研究室の皆様にこの場を借りて御礼申し上げます。